

令和2年度

環境経営レポート



対象期間 : 令和2年7月～令和3年6月

発行年月日 : 令和4年5月17日

株式会社 環境整備

目 次

- 1 環境経営方針
- 2 事業概要 & 認証登録範囲
- 3 実施体制
- 4 環境経営目標
- 5 環境経営計画及び実施した取組内容
- 6 環境経営目標の実績
- 7 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容
- 8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無
- 9 代表者による全体評価と見直し結果
- 10 情報公開事項

1 環境経営方針

環境経営方針

基本理念

株式会社環境整備は、豊かな自然・環境保護存続を使命とし、技術革新に努め、産業廃棄物を通し、広く社会に貢献することを基本理念とする。

基本方針

当社は産業廃棄物の収集運搬、中間処理および最終処分をしていることを踏まえ、環境負荷を低減するために、次に掲げる環境活動を行う。

1. 環境マネジメントシステムを構築し、環境目的・環境目標を設定実行し、継続的な改善及び環境汚染の予防を図る。
2. 関連する環境法規や規制、受入れを決めた協定その他の要求事項を順守する。
3. 廃棄物の適正処理・リサイクルの促進を図り、地域社会からの一層の信頼性向上・企業価値の向上を図る。
 - ①当社で使用するエネルギーの有効使用と削減に努めます。
 - ②適正な収集運搬、中間処理、最終処分の実施とリサイクルの促進に努めます。
 - ③地域社会から必要とされる会社を目指し、信頼性、企業価値の向上に努めます。
4. 事故・緊急時における油等の流出による環境汚染の防止を図る。
 - ①車両及び収集運搬業務の適正な管理による環境汚染の防止と事故防止に努めます。
 - ②産業廃棄物処理施設の適正な管理による環境汚染の防止と事故防止に努めます。
5. 社員への、環境に関する教育及び外部への広報活動を行う。
 - ①地域への社会貢献活動を積極的に行います。
 - ②工場内の整理、整頓、清掃を積極的に行います。
 - ③当社を取巻く外部への環境改善啓発活動を行います。
6. 環境方針は、社員に周知させ、希望する社外の人にも公表する。

2021年7月1日

株式会社 環境整備

代表取締役 伊五澤 泰彬

2 事業概要&認証登録範囲

1 名称及び代表者名
株式会社環境整備
代表取締役 伊五澤泰彬

2 所在地

本社・盛岡中間処理場 岩手県盛岡市川又字赤坂120番地39
北上リサイクルセンター 岩手県北上市和賀町堅川目1地割33番21
八戸リサイクルセンター 青森県八戸市大字河原木字浜名谷地76-470

3 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 総務部 阿部直也 TEL: 019-685-2101

4 事業活動の内容

産業廃棄物収集運搬業(積替・保管施設有り)、産業廃棄物処理業(中間処理・最終処分)、特別管理産業廃棄物収集運搬業(積替・保管施設あり)、特別管理産業廃棄物処理業

5 事業規模

資本金	90	百万円	
廃棄物受託量 t	平成30年度	令和元年度	令和2年度
産業廃棄物収集運搬	35211.1	34148.9	33473.0
産業廃棄物処理	14012.3	15387.4	15964.7
特別産業廃棄物収集運搬	1436.5	862.3	1058.6
再生品等販売	30年度	令和元年度	令和2年度
リサイクル品 t	4120	3945	4759

項目	(本社)盛岡中間処理場	北上リサイクルセンター	八戸リサイクルセンター
従業員	59名	8名	無人

6 認証登録範囲

全サイト・全組織・全活動が認証登録範囲

7 営業範囲

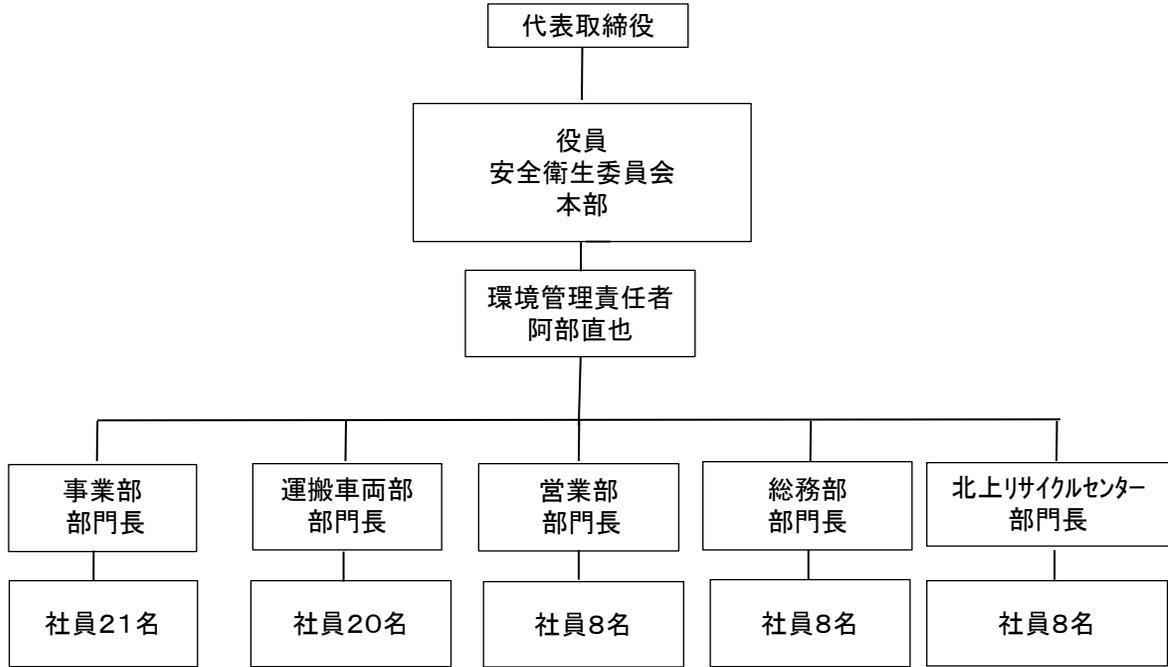
産業廃棄物収集運搬処理業

8 社歴

1983 会社創業	2006 ISO14001:2004認証取得
1986 石鳥谷富沢に安定型最終処分場開設	2008 基準適合産業廃棄物処理業者認定証取得
1987 会社設立 資本金1,000万円	2008 資本金2,000万円増資、総資本金7,000万円
1992 資本金1,000万円増資、総資本金2,000万円	2009 いわて地球環境にやさしい事業所認定証取得
1995 資本金1,000万円増資、総資本金3,000万円	2010 資本金2,000万円増資、総資本金9,000万円
1995 石鳥谷最終処分場増量変更	2010 東京中小企業投資育成株式会社経営参加
1996 盛岡中間処理場完成	2011 新焼却炉完成
1996 石鳥谷最終処分場管理棟完成	2011 廃熱を利用したスクルー式発電設備完成
2000 破砕処理管理棟完成	2013 太陽光発電設備完成
2002 資本金2,000万円増資、総資本金5,000万円	2015 北上リサイクルセンター開設
2002 株式会社環境整備に社名変更	2017 会社設立30年の記念碑建立
2002 ダイオキシン対策焼却施設完成	2018 エコアクション21認証取得
2004 八戸市にリサイクルセンター開設	2019 廃熱を利用した小型バイナリー発電設備完成
2006 本店所在地変更	2021 新焼却炉及び太陽光発電設備完成

3 実施体制

1 組織



代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任。
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。
	・環境管理責任者を任命。
	・代表者による全体の評価と見直しを実施。
	・環境方針を定め、社員に周知する。
安全衛生委員会	・委員長は代表者が任命する。
	・環境管理責任者の提案を審議し、決定事項を環境責任者は各部門で実施する。
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理。
	・環境活動の取組結果を代表者及び安全衛生委員会へ報告。
環境事務局	・環境管理責任者の補佐。
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。
	・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
	・取組データの集計、取りまとめ及び文書記録類の管理。
環境責任者(各部門長)	担当部門について環境経営システムを実施し、維持する。
	・省資源、省エネ、節水等の奨励・実施・確認・是正。
	・従業員に対する教育訓練の実施
全社員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚し、能力向上に努める。
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

4 環境経営目標

1 主な環境負荷の実績

表1、主な環境負荷等の実績

項目	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	2,164,525	2,188,162	2,136,325	2,312,478
購入電力使用量	k w h	1,136,478	1,281,130	1,293,990	1,413,617
ガソリン使用量	L	5,664	6,823	9,297	9,515
軽油使用量	L	453,216	444,512	420,825	423,036
重油使用量	L	180,000	177,180	174,020	217,500
灯油使用量	L	5,408	1,339	4,014	4,571
L P G使用量	m ³	14.6	12.2	12.0	12.3
廃棄物排出量（自社）	t	5,866	5,916	5,922	5,602
リサイクル品販売量					
木くず	t	3,457	3,395	3,130	3,721
金属	t	979	779	815	1,037
地域貢献	回	2	2	2	2

※水道については井戸水使用のため使用数量を把握しておりません。

2 環境目標の設定

当社では、令和2年度を基準年度として中期及び単年度の環境目標を、それぞれ表2のとおり設定し、環境活動に取り組んでおります。

表2 環境目標

項目	基準年度実績値		中期目標(内単年度目標)			
	実績値	単位	トライアル	令和3年度	令和4年度	令和4年度
二酸化炭素総排出量	2,312,478	kg-CO ₂	2%削減	2%削減	2%削減	2%削減
購入電力使用量	1,413,617	kwh	2%削減	2%削減	2%削減	2%削減
ガソリン使用量	9,515	L	2%削減	2%削減	2%削減	2%削減
軽油使用量	423,036	L	2%削減	2%削減	2%削減	2%削減
重油使用量	217,500	L	2%削減	2%削減	2%削減	2%削減
灯油使用量	4,571	L	2%削減	2%削減	2%削減	2%削減
L P G使用量	12.3	m ³	2%削減	2%削減	2%削減	2%削減
廃棄物排出量（自社）	5,602	t	2%削減	2%削減	2%削減	2%削減
リサイクル品販売量	4,758	0	5%増加	5%増加	5%増加	5%増加
地域貢献	2	回	3	3	3	3

購入電力の二酸化炭素排出係数は東北電力株の基礎排出係数0.423kg-CO₂/kwhを使用。

5 環境経営計画及び実施した取組内容

当社では、環境方針に基づき二酸化炭素、廃棄物量を削減し、環境目標を達成するため、従業員が一丸となって省エネルギー、廃棄物の削減・リサイクルに取り組んでおります。

取組の実施状況の評価結果は、表3のとおりです。

表3 主な環境活動計画の内容と取組結果

項目	取組内容	実施部門	実施期間	評価	備考
照明	昼・休憩時間は消灯する。	全部門	通年	○	継続的に続けていきます。
	部分的に照明を利用する。	全部門	通年	○	継続的に続けていきます。
	LED照明に切り替えている	全部門	通年	○	節電に大きく貢献出来ています。
冷暖房	夏期は30度を超えたら冷房をつけるようにする。	全部門	夏季	○	節電に大きく貢献出来ています。
	設定温度は冷房28度設定。	全部門	夏季	○	節電に大きく貢献出来ています。
	熱遮断シートを窓口に設置し、温度が上がらないようにする。	全部門	夏季	○	快適な状態を維持出来ています。
節電	デマンド監視装置を利用している。	事業部 北上リサイクルセンター	通年	○	節電に大きく貢献出来ています。
	昼・休憩時間は消灯する。	事業部 北上リサイクルセンター	通年	○	継続的に続けていきます。
	無駄な運転は行わない。	事業部 北上リサイクルセンター	通年	○	継続的に続けていきます。
車輛 その他	エコドライブを意識する。	全部門	通年	○	燃費の削減に繋がっています。
	デジタコでの運行管理。	運搬車両部 北上リサイクルセンター	通年	○	運行ルート確認や、燃費の削減に繋がっています。
産業 廃棄物	排出量の管理	事業部 北上リサイクルセンター	通年	○	計画的な処理・搬出が出来ています。
受託 廃棄物	最終処分場の廃棄物を減らすように分別等の管理	事業部 北上リサイクルセンター	通年	○	複数人で分別を行い、極カリサイクル出来ています。
社員教育	緊急事態訓練	全部門	11月	○	業務の効率化や安全作業などに繋がっています。
	各課の一般的な教育	全部門	1月・4月・10月	○	業務の効率化や安全作業などに繋がっています。
地域貢献	地域清掃活動	全部門	年3回以上	○	継続的に続けていきます。

6 環境経営目標の実績

当社では、環境目標の達成状況の確認・評価を行いました。

表4 当該年度の環境目標の達成状況等

項目	単位	基準年	当該年度			環境目標の達成状況
		実績値	削減(増加)	目標値	実績値	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	2,136,325	-8%	2,093,599	2,312,478	未達成
購入電力使用量	kwh	1,293,990	-8%	1,268,110	1,413,617	未達成
ガソリン使用量	L	9,297	-2%	9,111	9,515	未達成
軽油使用量	L	420,825	-1%	412,409	423,036	未達成
重油使用量	L	174,020	-20%	170,540	217,500	未達成
灯油使用量	L	4,014	-12%	3,934	4,571	未達成
LPG使用量	m ³	12.0	-2%	11.8	12.3	未達成
廃棄物排出量(自社)	t	5,922	6%	5,804	5,602	達成
リサイクル品販売量						
木くず	t	3,130	19%	3,287	3,721	達成
金属くず	t	815	27%	856	1,037	達成
地域貢献	回	2		4	2	未達成

環境活動の状況

当社でのエネルギー使用量についてはガソリンが社用車での使用が主になっております。当年度も、新型コロナウイルスの感染防止に伴い、環境活動を自粛せざるを得ない場面が多くありました。収集運搬車両は年々増加しており、それに伴って軽油の使用量も増えていますが、デジタコを全車両に搭載し、エコドライブを心掛けています。灯油は、工場内で使用する頻度が増えたため、達成には至りませんでした。軽油は、産業廃棄物を収集運搬する際の車両及び処理する重機の際に使用しております。震災後と比較すると、沿岸部の収集は少なくなりましたが、増車や収集の件数は増加傾向にあり、今後更に使用量の増加が予想されます。重油は新しい焼却炉が設置された為、更に使用量の増加が予想されます。廃棄物の受け入れが年々増加傾向にあるため、削減は厳しい状況にあります。焼却炉の新規増設があり、処理量は増えますが、効率の良い運転を心掛けます。LPGについては事務所、給湯室での使用しており、使用量も概ね例年通りとなっています。廃棄物排出量については多少前後はありますが、概ね例年通りです。購入電力について、年々、設備の入れ替え等により使用量が大きくなっているのが現状です。地域貢献のところでは、地域清掃活動ということで工場の周囲の道路のゴミ拾いを行っており、当年度は、感染拡大防止策として、奉仕活動を自粛していました。今後実施回数を増やす事は難しいと思いますが、前向きに検討し、実行に移していきます。



7 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容

1. 取組結果の評価

表5 主な環境活動計画の内容と取組結果

項目	実施状況の評価	達成度	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量の抑制	照明	消灯等の取組は概ね定着している。	○ 消灯する時間帯や、常時消灯場所を増やし、電力削減を推進する。
	冷暖房	温度管理は概ね定着している。	○ クールビズ、ウォームビズを推進し、不必要な冷暖房運転は控える。
	節電	デマンド監視装置を活用出来ている。	○ 目標設定値を見直し、より効率的な運転を心掛ける。
	車両その他	デジタコによる運行管理を実施し、各人が意識している。	○ 運行ルート確立や、高速道路の利用規制等により、無理・無駄な走行を無くす。
廃棄物	産業廃棄物	燃え殻は受入量が多くなると増えます。	○ 極力焼却処理を無くし、リサイクルの効率化をはかる。
	リサイクル品販売	リサイクル率を上げるため、分別を徹底している。	△ リサイクル率95%を達成する。
	社員教育	安全大会、教育訓練等実施している。	△ エコアクションに直接繋がるような教育を、定期的に実施する。
	地域貢献	地域清掃活動を実施したが、実施回数が足りていない。	△ 回数頻度を増やし、定期的に実施する。

2. 次年度以降の重点取組み

令和4年度：廃棄物の運搬及び処理の効率を上げ、エネルギー削減の目標値を達成する。
全社員が環境目標の設定数値を達成出来るようにする。

令和5年度：発電設備や焼却炉を有効に活用し、燃料の使用削減、CO2削減につとめる。
分別を徹底し、リサイクル率を向上させる。

8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社が法的義務を受ける廃棄物処理法など、環境関連法規について遵守状況をチェックしたところ違反はありませんでした。

また、過去3年間、関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情、訴訟等について、問題がありませんでした。

9 代表者による全体評価と見直し結果

E001様式13

環境マネジメントレビュー議事録

承認	作成
	

作成日：2021年9月17日

実施日：2021年9月17日

定期

臨時

(いずれかに〇)

1、レビューの着眼と判断(インプット)

	レビューの着眼点	見直し判断	インプット情報
①	内部監査の結果、法的要求事項及び組織が同意するその他の要求事項の順守評価の結果の見直しが必要	要 <input checked="" type="radio"/> 不要	法規制その他の要求事項については概ね遵守されております。各県別の実績報告や産業廃棄物管理票交付状況報告の提出、PRTR制度に関する報告等は報告・提出済です。その他については、いずれも要求事項を概ね遵守しております。
②	苦情を含む外部の利害関係者からのコミュニケーションの見直しが必要	要 <input checked="" type="radio"/> 不要	・バックホー給油時、移動する時上空のワイヤーに気づかず、切断させた物損事故。(2021/9/6) ・廃棄物を重機で降ろそうとした時、排土板で敷いてある鉄板を持ち上げてしまい、お客様の足を怪我させた労災事故。(2021/9/6) ・破砕機を誤作動させ、キャビンの窓ガラスを破損させた物損事故。(2021/7/8) ・コンテナ車輻のレールを破損させた物損事故。(2021/5/24) ・社内の会議準備中、テーブルが倒れ右足指を骨折した労災事故(2021/5/22) ・収集先にて、ホースから作動油を漏洩させた事故。(2021/4/26)
③	組織の環境パフォーマンスの見直しが必要	要 <input checked="" type="radio"/> 不要	今年から新たな組織での業務がスタートしました。各部門の呼称変更や役割を明確にする事で、業務自体が経営に直結する体制が出来たと思います。新しい焼却炉・車輻などがあるので、一人一人が安全に、環境に配慮した運転が出来るよう、パフォーマンスの向上を目指しましょう。
④	目的及び目標が達成されている程度により見直しが必要	要 <input checked="" type="radio"/> 不要	自社での物損・労災事故が昨年より多く発生しています。指差呼称の徹底と、事故を絶対起こさないという意識を持ちましょう。営業物件の情報提供は各部門概ね目標を満たしています。また、新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、今年も施設見学を極力控えて頂きました。
⑤	是正処置及び予防処置の状況についての見直しの必要	<input checked="" type="radio"/> 要 不要	各部門長からのコメントに目を通し、一人一人が意識を変え、同じ事故を絶対に起こさないようにしましょう。
⑥	前回までのマネジメントレビューの結果に対するフォローアップについて見直しの必要	要 <input checked="" type="radio"/> 不要	去年と比較し、まだまだ改善できる所多くあると思うので、各部門での目標、取り組みについて確認をお願いします。無事故を達成する月が1回でも多く続くように、全員で協力していきましょう。売上目標に対し社員一人ひとりが目標達成に向かって頑張らしましょう。
⑦	環境側面に関係した法的及びその他の要求事項の進展を含む、変化している周囲の状況	<input checked="" type="radio"/> 要 不要	法規制その他の要求事項については、概ね遵守されておりますが、施設では新しい保管庫や設備の変更箇所がありますので、それに関わる法規制関連の確認をお願いします。契約書やマニフェストの取り扱いについて、全員が理解・レベルアップし、法令遵守を徹底しましょう。
⑧	改善のための提案	要 <input checked="" type="radio"/> 不要	企業としてのSDGsへの取り組みが重要視されてきています。使わない電気は消す、アイドリングストップなど、少しずついいので、エコ活動に積極的に取り組んでいきましょう。ミーティング等でコミュニケーションの部分強化し、情報の共有をもっとしていきましょう。各部門、連携・協力して業務に当たり次の目標まで見据えていきましょう。

2、レビューの結果(指示内容)

- ① 環境方針の見直しを (要 ・ 不要) とする
- ② 環境目的・目標の見直しを (要 ・ 不要) とする
- ③ その他の環境マネジメントシステム要素の見直しを (要 ・ 不要) とする

3、トップマネジメントからの指示・コメント(アウトプット)

現場をまず意識・観察してみる事で、今の状況やこのままではどうなるのか等の思考が出来、後の結果に違いが出ます。気付きの第一歩は、基準や正常な状態を知る事。仕事への熱意を支えるのは、人生を豊かにする為。一歩先を見つめ、今何をすべきか、今何を求められているのか考え、よく心得て仕事をしましょう。

4、レビュー結果の展開

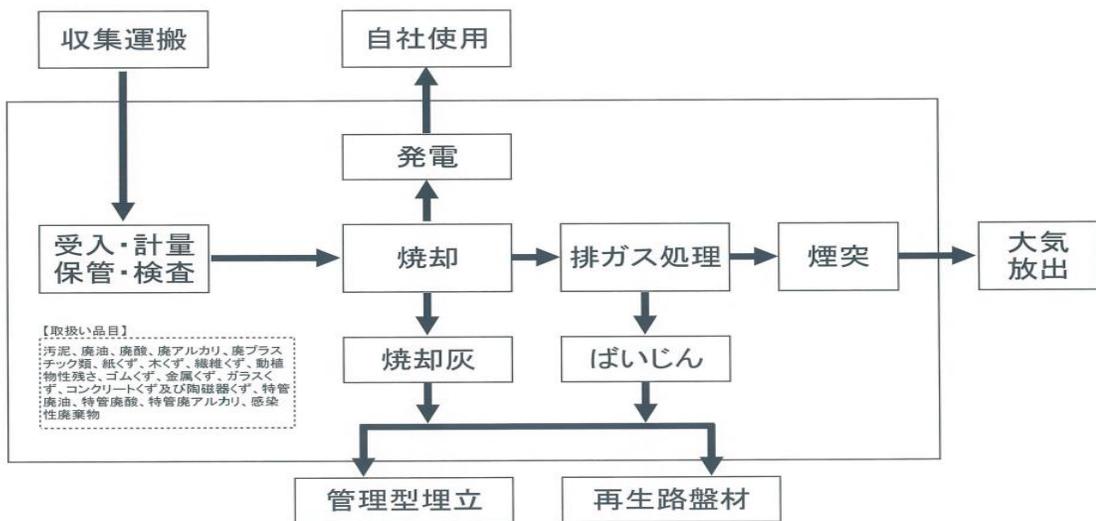
変更対象	変更内容	担当部門	記入日	確認	社長印
リスクアセスメント教育、指差呼称教育	事故防止の為、リスクアセスメントや指差呼称教育を利用し自部門の仕事手順や知識を深め、事故等の防止を図る。	全部門	2021.9.17		
目的・目標に対する周知方法	各部門のミーティングを強化し、自部門が取り組んでいる目的・目標に対する取り組み状況を周知し目標達成する。	全部門	2021.9.17		

10 情報公開事項

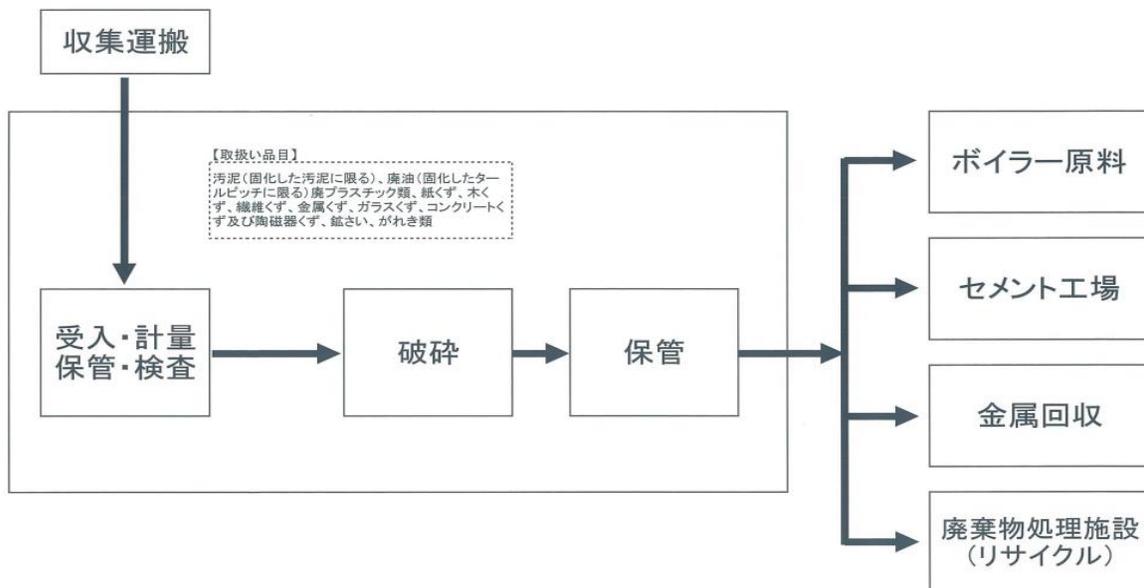
事業所名		株式会社環境整備						
代表者名		代表取締役 伊五澤 泰彬						
所在地		岩手県盛岡市川又字赤坂120番地39						
環境管理責任者		阿部 直也						
エコアクション2.1担当者		阿部 直也						
連絡先	電話	019-685-2101		FAX	019-685-2103			
	E-mail	soumu@kankyo-seibi.jp						
	URL	http://www.kankyo-seibi.jp/						
事業活動の内容		産業廃棄物収集運搬業 : 民間企業、行政関係からの委託収集運搬 特別産業廃棄物収集運搬業 : 医療系廃棄物収集運搬、廃アルカリ・廃酸等 引火性廃油収集運搬 産業廃棄物中間処理業 : 産業廃棄物の焼却・破碎・選別・圧縮施設 圧縮施設・選別施設 積替・保管施設 : 廃油・廃アルカリ・廃酸・汚泥・動植物性残さ等						
事業計画の概要		産業廃棄物通じて資源循環型社会構築を目的とし、低炭素社会構築に貢献する。						
事業の範囲		営業範囲：産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処理業、特別管理産業廃棄物収集運搬業、特別管理産業廃棄物処理業						
事業の規模	事業年度	第33期		第34期		第35期		
	売上高（百万円）	1,419,099,916		1,344,787,165		1,381,004,109		
		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
	収集運搬量（t）	35211.1		35011.3		34531.6		
	処分量（t）	14012.3		15387.4		15964.7		
	最終処分量（t）	859.3		773.2		687.06		
	従業員（名）	65		63		67		
法人設立年月日	昭和62年5月1日		資本金	90		百万円		
許可の内容及び設備	許可名/許可番号	年月日		事業区分、廃棄物の種類				
	(盛岡市)産業廃棄物収集運搬業 11011005147	許可	平成28年6月23日		【優良認定】【積替保管あり】燃え殻・汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残さ・ゴムくず・金属くず・ガラス、コンクリートくず及び陶磁器くず・鉱さい・がれき類・ばいじん			
		有効	令和5年6月22日					
	(盛岡市)産業廃棄物処分量 11021005147	許可	令和4年2月28日		【優良認定】【処分方法：破碎・選別・焼却・圧縮・減容】廃プラスチック類・紙くず・繊維くず・金属くず・ガラス、コンクリートくず及び陶磁器くず・燃え殻・汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・木くず・動植物性残さ・ゴムくず・がれき類			
		有効	令和5年6月22日					
	(盛岡市)特別管理産業廃棄物収集運搬業 11061005147	許可	令和4年2月28日		【優良認定】【積替保管あり】廃油・廃酸・廃アルカリ・感染性廃棄物・廃ポリ塩化ビフェニル等・ポリ塩化ビフェニル汚染物・廃水銀等・廃石綿等・ばいじん・燃え殻・汚泥			
		有効	令和5年6月22日					
	(盛岡市)特別管理産業廃棄物処分量 11071005147	許可	平成28年4月12日		【優良認定】【処分方法：焼却】廃油・廃酸・廃アル・感染性廃棄物			
		有効	令和5年4月11日					
	(岩手県)産業廃棄物収集運搬業 00311005147	許可	平成29年2月10日		【優良認定】【積替あり】燃え殻・汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残さ・ゴムくず・金属くず・ガラス、コンクリートくず及び陶磁器くず・鉱さい・がれき類・ばいじん			
有効		令和6年2月9日						
(岩手県)産業廃棄物処分量 00322005147	許可	令和1年9月11日		【優良認定】【処分方法：圧縮・選別・破碎】廃プラスチック類・紙くず・繊維くず・ガラス、コンクリートくず及び陶磁器くず・汚泥・金属くず・木くず				
	有効	令和6年2月6日						
(岩手県)特別管理産業廃棄物収集運搬業 00351005147	許可	令和4年1月20日		【優良認定】【積替保管あり】廃油・廃酸・廃アルカリ・感染性廃棄物・廃ポリ塩化ビフェニル等・ポリ塩化ビフェニル汚染物・廃水銀等・廃石綿等・ばいじん・燃え殻・汚泥				
	有効	令和6年2月9日						
設備	設備名	能力	台数	設備名	能力	台数		
	盛岡市			岩手県				
	圧縮施設	4.289t/日	1	破碎施設Ⅰ	4.95t/日	1		
	焼却施設	39t/日	2	破碎施設Ⅱ	9.6t/日	1		
	選別施設	6.83t/日	1	破碎施設Ⅲ	1.904t/日	1		
	破碎施設Ⅰ	0.86t/日	1	圧縮施設	3.431t/日	1		
	破碎施設Ⅱ	4.95t/日	1	選別施設	6.83t/日	1		
	破碎施設Ⅲ	6t/日	1					
	破碎施設Ⅳ	5.3/日	1	【盛岡中間処理場】積替施設保管上限 1348.66m ³				
	破碎施設Ⅴ	144t/日	1	【北上リサイクルセンター】積替施設保管上限 1331.83m ³				
	破碎施設Ⅵ	10t/日	1	【八戸リサイクルセンター】積替施設保管上限 0.8m ³				

設備	収集運搬車両		収集運搬車両	
	4 t コンテナ車	2 台	7 t クレーン付トラック	7 台
	6 t コンテナ車	2 台	10 t クレーン付トラック	3 台
	7 t コンテナ車	1 台	10 t ダンプ	3 台
	10 t コンテナ車	3 台	2 t ダンプ・4 t ダンプ	各 1 台
	クレーン付 7 t コンテナ車	1 台	10 t ウイング車	1 台
	クレーン付 10 t コンテナ車	2 台	保冷車	2 台
	2 t クレーン付トラック	1 台	パッカー車	1 台
	3 t クレーン付トラック	1 台	ダンパー車	1 台
	4 t クレーン付トラック	1 台	ライトバン	4 台

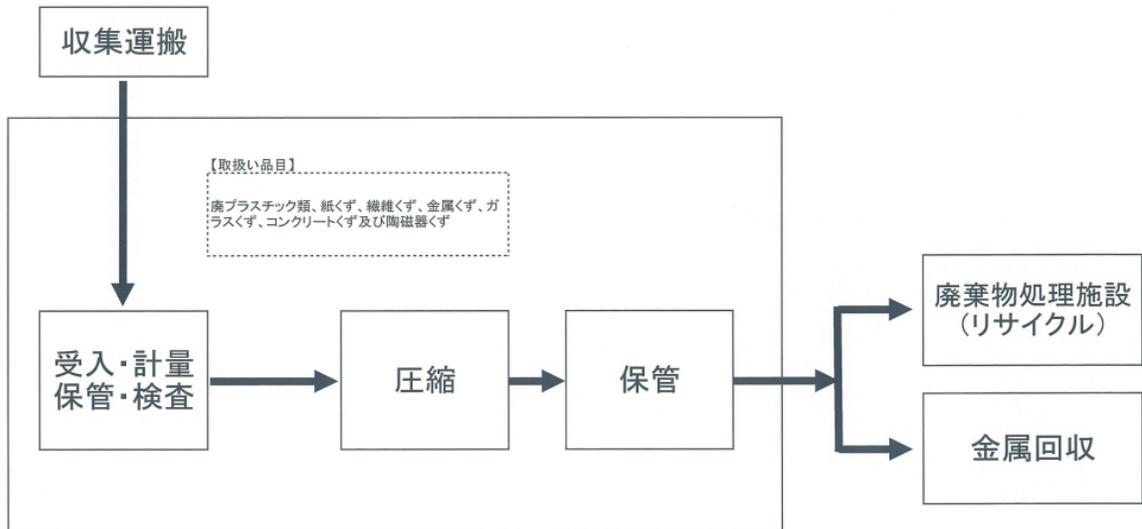
● 処理工程図 (盛岡中間処理場 焼却施設)



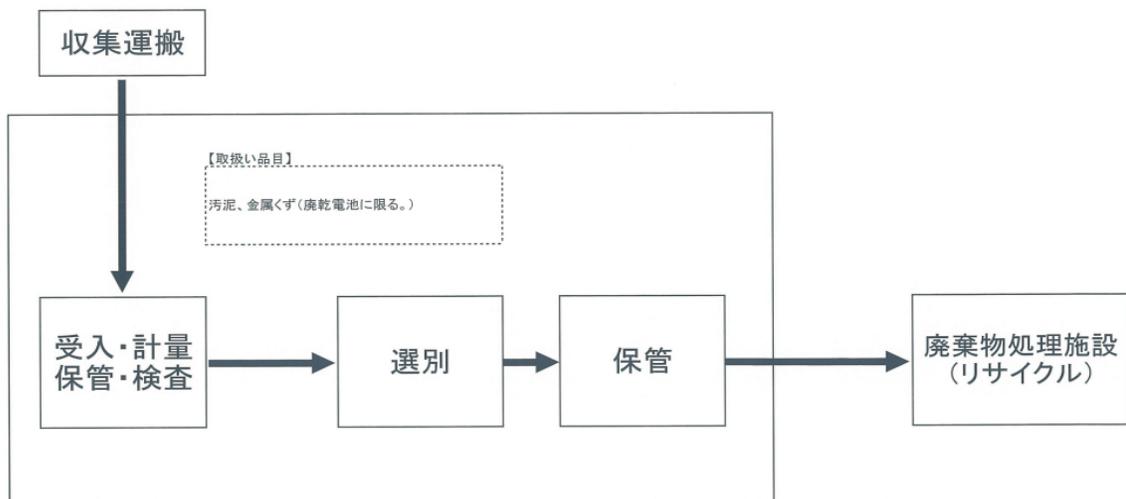
● 処理工程図 (盛岡中間処理場 破碎施設)



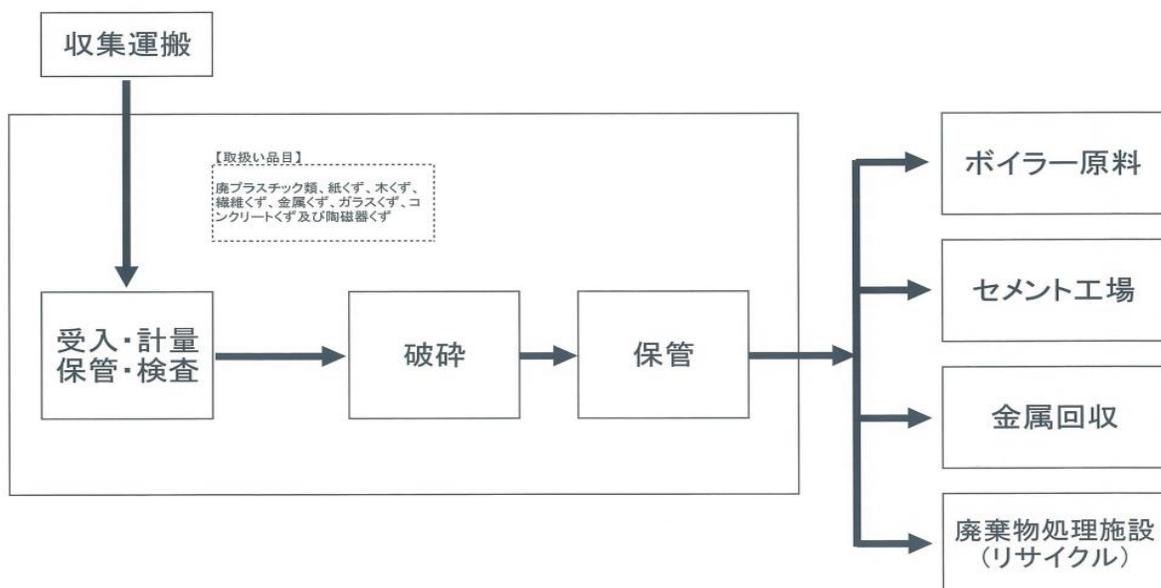
● 処理工程図(盛岡中間処理場 圧縮施設)



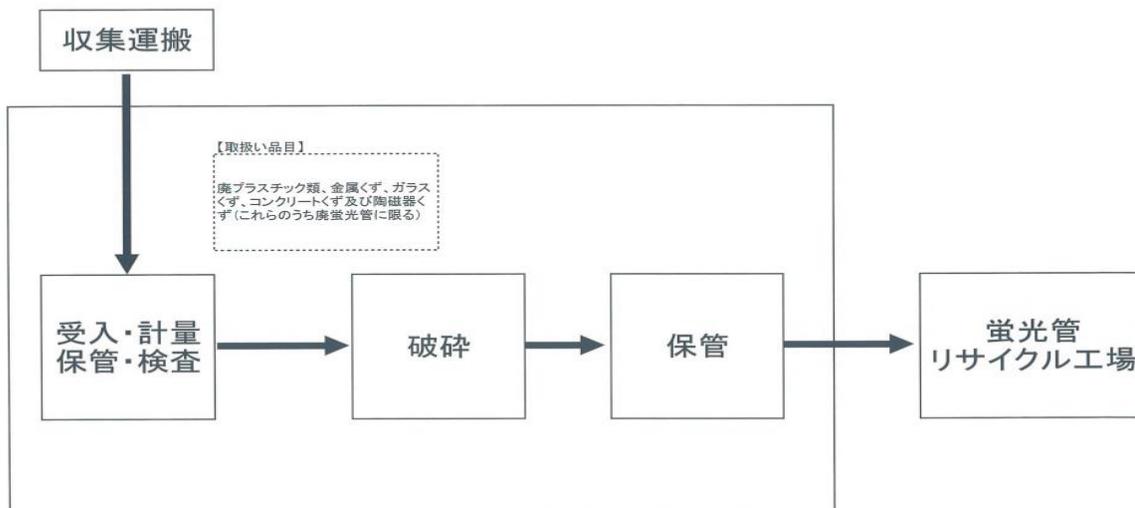
● 処理工程図(盛岡中間処理場 選別施設)



● 処理工程図(北上リサイクルセンター 破碎施設)



● 処理工程図(八戸リサイクルセンター 破碎施設)



産業廃棄物収集運搬量(令和2年7月～令和3年6月)

廃棄物の種類	単位	重量
燃え殻	t	1050.295
汚泥	t	3520.84
汚泥(水銀含有ばいじん)	t	0.11
廃油	t	468.19
廃酸	t	126.313
廃アルカリ	t	252.425
廃プラスチック類	t	9074.261
紙くず	t	654.043
木くず	t	3334.461
繊維くず	t	85.29
動植物性残さ	t	57.956
金属くず	t	935.568
金属くず(混合)	t	7.166
ガラス・コンクリ・陶磁器	t	1219.946
ガラスくず・金属くず	t	0.731
ガラスくず(蛍光灯類)	t	92.534
ガラスくず(リサイクル)	t	234.343
ガラスくず(石膏ボード)	t	1726.301
鉱さい	t	1272.06
がれき類	t	6543.095
ばいじん	t	1673.03
廃プラスチック類(混合)	t	1144.102
引火性廃油	t	200.93
引火性廃油(有害)	t	7.32
強酸	t	115.149
強酸(有害)	t	24.44
強アルカリ	t	50.825
強アルカリ(有害)	t	0.29
感染性廃棄物	t	232.464
石綿(飛散性)	t	78.76
廃油(有害)	t	0
汚泥(有害)	t	26.742
廃酸(有害)	t	14.858
廃アルカリ(有害)	t	306.83
合計	t	34531.668

産業廃棄物処理量(令和2年7月～令和3年6月)

		廃棄物の種類	処理方法等	単位	重量	
中間処理		汚泥	焼却	t	210.282	
		廃油	焼却	t	14.403	
		廃酸	焼却	t	2.687	
		廃アルカリ	焼却	t	2.599	
		廃プラスチック類	圧縮	t	2.76	
		廃プラスチック類	焼却	t	2759.746	
		廃プラスチック類	破砕	t	4216.166	
		紙くず	焼却	t	280.103	
		紙くず	破砕	t	453.679	
		木くず	焼却	t	516.564	
		木くず	破砕	t	3721.685	
		繊維くず	焼却	t	6.189	
		繊維くず	破砕	t	76.663	
		動植物性残さ	焼却	t	89.252	
		金属くず	焼却	t	12.682	
		金属くず(乾電池類)	選別	t	45.531	
		金属くず	破砕	t	1037.893	
		金属くず(混合)	破砕	t	10.695	
		ガラス・コンクリ・陶磁器	圧縮	t	5.57	
		ガラス・コンクリ・陶磁器	焼却	t	57.869	
		ガラス・コンクリ・陶磁器	破砕	t	112.134	
		ガラスくず(蛍光灯類)	破砕	t	106.234	
		ガラスくず(リサイクル)	破砕	t	7.595	
		ガラスくず(石膏ボード)	破砕	t	632.099	
		鋳さい	破砕	t	12.95	
		がれき類	破砕	t	13.575	
		廃プラスチック類(混合)	焼却	t	0.08	
		廃プラスチック類(混合)	破砕	t	845.897	
		引火性廃油	焼却	t	9.092	
		強酸	焼却	t	0.458	
		強アルカリ	焼却	t	0.009	
		感染性廃棄物	焼却	t	701.567	
	うち再資源化等		廃プラスチック類	破砕	t	4216.166
			ガラスくず(石膏ボード)	破砕	t	632.099
			木くず	破砕	t	3721.685
			金属くず	破砕	t	1037.893
			紙くず	破砕	t	453.679
			ガラスくず(リサイクル)	破砕	t	7.595
			ガラスくず(蛍光灯類)	破砕	t	106.234
			金属くず(乾電池類)	選別	t	45.531
		小計		t	10220.882	
		合計		t	15964.708	

有価売却量(令和2年7月～令和3年6月)

廃棄物の種類	単位	重量
木くず	t	3721.685
金属くず	t	1037.893
合計	t	4759.578